

平成27年度 大学院造形研究科 修士課程 [A日程] 入学試験問題

- 造形理論・美術史コース 小論文 (2時間)
- 造形理論・美術史コース 外国語(英語) (1時間)
- 造形理論・美術史コース 専門基礎(筆記試験) (1時間)

※造形理論・美術史コースは受験生がいなかったため実施せず。

- 芸術文化政策コース 小論文(英語含む) (2時間)

【問題】

添付の文章は、哲学者、多木浩二(1928-2011)の語り下し講義録『映像の歴史哲学』所収の第二章「反-オーソリティ あらゆる他者と出会う」から切り取った断章である。

これを読んで全体の主旨を要約し、美術作品を「見ること」の経験とその意義を、日常に実際にある建築や日用工芸品を「見ること」のあり方と比較して、あなた独自の解釈を加えて自由に論じなさい(1,200字以内、タイトルを20字以内でつけること)。

またその要旨を200ワード程度の英文にまとめなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚

(出典：『映像の歴史哲学』47頁-49頁、みすず書房、2013年)

3. 原稿用紙×1セット
4. 解答用紙(英語用)×1枚
5. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

■視覚伝達デザインコース 小論文および設問 (2時間)

【小論文1】

あなたが大学院で研究しようとしているテーマは、今現在のあなたにとってどういった位置づけにあるか、具体的に記述しなさい。(400字以内、タイトルを20字以内でつけること)

【小論文2】

人間の近・現代の社会生活におけるコミュニケーションの歴史には、下記の5項目に代表されるいくつかのターニングポイントがあった。

この5項目のうち、2つ以上の項目を選んで、これらの技術とそこから生み出されたメディアがそれぞれの時代に果たした役割や意義、さらにはその後の社会に与えた影響について述べなさい。(1,200字以内、タイトルを20字以内でつけること)

- 1 ドイツのヨハン・グーテンベルク(1400-1468)が1450年頃に創始した活字鑄造と印刷技術。(参考資料図版1)
- 2 スコットランドのグラハム・ベル(1847-1922)によって1876年に特許申請がなされた通信技術(電話機)の発明。(参考資料図版2)
- 3 アメリカのトーマス・エジソン(1847-1931)などに代表される写真技術を応用した映写機(キネト・スコープ)の発明。(参考資料図版3)
- 4 アメリカのスティーブ・ジョブズ(1955-2011)が1980年以降に一般社会に普及させたパーソナルコンピュータ。(参考資料図版4)
- 5 イギリスのティム・バーナーズ・リー(1955-)が1990年にインターネットを一般社会に普及させるWorld Wide Web(ウェブページ)を構築。(参考資料図版5)

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 参考資料図版×5枚(参考資料掲載省略)
3. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
4. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット
5. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

■工芸工業デザインコース 小論文 (2時間)

【問 題】

デザインと環境について、あなたはどうか述べるか述べなさい。(1,200字以内)

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

■デザイン専攻 建築コース 小論文(英語含む) (2時間)

【問 題1】

別紙の英文は、『1000 chairs』からの家具についての記述である。

これを読んで以下の問いに答えなさい。

- (1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) この記事について、日本語でコメントしなさい。(80字程度)

【問 題2】

歴史的に有名な家具を一例にあげ、その家具の特徴と歴史的背景について記述しなさい。また、日常における家具と建築について、デザイン的な共通性や関係性を論述しなさい。(600字以内)

[条件]

原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
(出典:『1000 chairs』, p.6-7, Charlotte & Peter Fiell, Taschen, 2013)
3. 【問題1】用 解答用紙×1枚
4. 【問題2】用 原稿用紙×1枚
5. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

■映像コース 小論文（2時間）

【問 題】

写真家のアンリ・カルティエ＝ブレッソンの言葉をうけて、「みる」ことについて、あなたの考えを論じなさい。

「みることがわかる人は、きくことがわかる人と同様にまれである・・・

撮影することは重要ではない。みることがすべてである。」

（1,000字以内、タイトルを20字以内でつけること）

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。
タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■写真コース 小論文（2時間）

【問 題】

社会において写真はどのような役割を担っているかを考察すると共に、自身の写真作品との関連性を1,200字以内で述べなさい。また、論旨を明確に表現するタイトルを20字以内でつけなさい。

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

以上

平成27年度 大学院造形研究科修士課程 [B日程] 入学試験問題

■美術専攻 日本画コース 実技（素描）（6時間）

【問題】

大学院で制作する作品の下図またはイメージをデッサンしなさい。
また、画面下方に50字前後で、その作品の制作意図を書きなさい。

[条件]

答案用紙は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B2画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 日本画コース 小論文（2時間）

【問題】

日本画における写生の意義について考えるところを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 油絵コース 小論文（2時間）

【問題】

美術制作において物語性は必要か、考えるところを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 版画コース 小論文 (2時間)

【問 題】

ペインティングやドローイングとは異なる版表現独自の意義や魅力とは何か、自分の考えを述べなさい。(1,200字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙 (B4上質紙) ×1枚

■美術専攻 彫刻コース 実技 (デッサン) (6時間)

【問 題】

与えられた用紙の中に、これから展開しようとする自己の作品を実物大で描きなさい。
なお、全体が入りきらない場合は主要部を描くこと。

[条件]

1. 描画材料は木炭、鉛筆、コンテ (選択自由、併用可)。
2. 答案用紙 (画用紙) は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙 (画用紙) ×1枚
3. 下書き用紙 (B4上質紙) ×4枚

■美術専攻 彫刻コース 小論文 (2時間)

【問 題】

あなたが彫刻を志すきっかけとなった作品について、その魅力を述べなさい。
(1,000字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース

小論文 (2時間)、外国語 (英語) (1時間)、専門基礎 (筆記試験) (1時間)

志願者なしにつき掲載せず

■美術専攻 芸術文化政策コース 小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

添付した新聞記事は、ある現代美術の収集家を紹介したものである。

「現代における美術収集」についてのあなたの考えを述べなさい。（1,200字以内）
さらに、その要旨を英文 200ワード程度で書きなさい。

[条件]

1. 小論文は配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること

[配付物]

1. 試験問題
2. 新聞記事×1枚
出典：「朝日新聞」2010年7月3日、b1面
3. 原稿用紙×1セット
4. 解答用紙（英文用）×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 視覚伝達デザインコース 小論文および設問（2時間）

【小論文1】

あなたが大学院で研究したいテーマとその内容、手法について具体的かつ簡潔に述べなさい。（400字以内、タイトルを20字以内でつけること）

【小論文2】

別紙資料はメディアの発達の歴史と、それに対応したデザイン領域の広がり、デザインの課題を説明したものである。この表を参照して、【小論文1】で述べた自分の研究テーマと現在の広範なデザイン領域との関わりを考察し、今後のデザインの可能性を述べなさい。（1,200字以内、タイトルを20字以内でつけること）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙資料
「Information + Semiotics + Design」下村千早、I+S+D研究会著、
武蔵野美術大学発行、2012年、40-41頁
3. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
4. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット

■デザイン専攻 工芸工業デザインコース 小論文 (2時間)

【問 題】

デザインと地域性または風土についてあなたはどうか考えるか述べなさい。

(1,200字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する事。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙 (B4上質紙) ×2枚

■デザイン専攻 空間演出デザインコース 小論文 (2時間)

【問 題】

「黒」あるいは「白」について、空間と身体の関係性から自由に論じなさい。

(800字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する事。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙 (B4上質紙) ×2枚

■デザイン専攻 建築コース 小論文 (英語含む) (2時間)

【問 題】

別紙の英文は今年のプリツカー賞授与のお知らせから抜粋したものである。この英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

1. 下線部 A を日本語に訳しなさい。
2. 下線部 B を日本語に訳しなさい。
3. この建築家について、あなたの考えるところを論じなさい。(600字以内)

[条件]

【問い3】用の原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する事。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚

出典：“The Pritzker Architecture Prize”

(<http://www.pritzkerprize.com/2014/announcement>)

3. 【問い1. 2】用 解答用紙×1枚

4. 【問い3】用 原稿用紙×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース 小論文 (2時間)

【問題】

デザインが家庭、職場、公共などにわたる生活の「質」を向上させることとは、どのようなことなのか、またあなたの制作・研究課題が生活の「質」の向上とどのように関連するのか、具体例をあげて論じなさい。(1,200字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙 (B4上質紙) ×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース 外国語 (英語) (1時間)

【問題】

以下の英文は Yo-Yo-Ma の芸術の役割、創造性、人間の生活や生命についてインタビューをまとめたテキスト “Behind The Cello” (チェロのない場所で) の一部 “NECESSARY EDGES” (必要な周縁) である。全文を日本語に訳しなさい。

(出典: The World Post, 01/21/2014 掲載)

～英文省略～

[配付物] 1. 試験問題

2. 解答用紙×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース 小論文 (2時間)

【問題】

今日のデザイン活動やプロセスには、デザインリサーチ(サーベイ)が必要不可欠なステージとして組み込まれています。あなたが大学院で行おうとしている研究テーマについて、どのようなデザインリサーチ(サーベイ)が相応しいか、別紙の資料を参考にしてその全体計画について1,200字以内で述べなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚

出典：出原栄一『日本のデザイン運動[インダストリアルデザインの系譜]』、
ペリカン社、1989年、223 - 224 頁

3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（A4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース 外国語（英語） （1時間）

【問 題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

（出典は Edward A. Shanken 編『Art and Electronic Media』 p.14-15 より抜粋）

～英文省略～

【配付物】

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

以上